

正誤表

『遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）診療の手引き 2017 年版』第 1 刷（2017 年 10 月 25 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2017 年 12 月 21 日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
111	「解説」 9～13 行目	1,915 例の散発性卵巣癌の <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を検出した報告によると、 <u>低</u> 異型度漿液性癌 1,498 例の 16% (<i>BRCA1</i> : 10.3%, <i>BRCA2</i> : 5.7%), <u>低</u> 異型度類内膜癌 64 例の <u>11.1%</u> (<i>BRCA1</i> : <u>6.4%</u> , <i>BRCA2</i> : 4.7%), 明細胞癌 58 例の 6.9% (すべて <i>BRCA1</i>), <u>高</u> 異型度漿液性癌 70 例の <u>5.6%</u> (<i>BRCA1</i> : <u>4.2%</u> , <i>BRCA2</i> : 1.4%) に <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を認めたが、 <u>高</u> 異型度類内膜癌 13 例、粘液性癌 <u>9</u> 例には <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を認めなかった ¹⁰⁾ 。	1,915 例の散発性卵巣癌の <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を検出した報告によると、 <u>高</u> 異型度漿液性癌 1,498 例の 16% (<i>BRCA1</i> : 10.3%, <i>BRCA2</i> : 5.7%), <u>高</u> 異型度類内膜癌 64 例の <u>10.9%</u> (<i>BRCA1</i> : <u>6.3%</u> , <i>BRCA2</i> : 4.7%), 明細胞癌 58 例の 6.9% (すべて <i>BRCA1</i>), <u>低</u> 異型度漿液性癌 70 例の <u>5.7%</u> (<i>BRCA1</i> : <u>4.3%</u> , <i>BRCA2</i> : 1.4%) に <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を認めたが、 <u>低</u> 異型度類内膜癌 13 例、粘液性癌 <u>16</u> 例には <i>BRCA</i> 生殖細胞系列変異を認めなかった ¹⁰⁾ 。
112	3 行目	<u>低</u> 異型度漿液性癌	<u>高</u> 異型度漿液性癌
	11 行目	<u>低</u> 異型度漿液性卵巣癌	<u>高</u> 異型度漿液性卵巣癌
	15 行目	<u>低</u> 異型度漿液性卵巣癌	<u>高</u> 異型度漿液性卵巣癌

以上